

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
HIYOKO KIDS巨理教室		2026年 5月 1日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	・適切な広さに区切られている。 ・二部屋に分け活動している。 ・クールダウンのできる場所が設定されており個々に対応できている。	・利用定員10名に対してのスペースは規定に沿って適切です。 ・伸び伸びと活動ができるよう室内は物の配置などに工夫を行っています。 ・クールダウンの場所に改善をし、より安全に安心して過ごせる環境を整えています。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	・不足の際はヘルプでの対応をしている。 ・児童の状態に合わせた人員配置が必要であると思う。	・適切に配置をしています。個々に対応する際の工夫は行っているものの、現状として難しさを感じる場合もあるため、より良い支援の為にさらに人員の配置ができるよう努力して参ります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	・パーティションを使い分かりやすい配慮がされている。 ・職員の工夫で改善されているが、手直しや改善を日々の状況に合わせて行っています。	・駐車場から玄関まではスロープになっており、入りやすくなっています。玄関前には10cm程度の段差があり車いすでの入室には配慮が必要になっています。利用児の特性に合わせ理解しやすい視覚的配慮、構造化を行い安心して利用できる環境を整えています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・日々清潔な環境作りを意識している。	・構造化により静と動の活動に分け活動しやすい環境を整えています。又、毎日の清掃で消毒までをしっかりと行い、安心して利用していただけるよう配慮しています。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・部屋を区切り対応している。 ・クールダウンの部屋が作れている。	・児童の状況から落ち着かない場合や、パニック時に安心して過ごせるようスペースを設けたり、別室で過ごす事ができるように環境の設定を行っております。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	・ケース会議等で周知している。	・職員が一つのチームとして業務を行う事を意識しながら日々改善に努めています。さらに時間を取ながらケース会の開催や充実を図って参ります。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・保護者の意見を把握し連携を取って改善を行っている。	・改善すべき点を事業所の目標として挙げ取り組んでいます。 ・自己評価の内容については事業所玄関に置き皆様にご覧いただけるようにしています。又、ホームページでも公開しています。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・情報共有の場を日々設けている。 ・風通しの良い職場と環境づくりを教室長と共に作り意見を発信しやすい雰囲気作りがされている。	・定期的に所内会議や支援会議を行い全員で共有を行いながら業務改善に努めております。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	・わからない。	・外部評価については改善の努力を行っていきます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・研修会が内部や外部で行われ、参加している。	・法人研修の他、事業所内の研修を開催し、学ぶ機会を設けている。
11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・施設の指導のもと行われている。	・支援プログラムは玄関へ掲示するとともにホームページに公表しています。	

適切な支援の提供	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0		・利用前、また、適宜アセスメントを行い、子ども本人のニーズ、保護者様のニーズを把握し、今必要な支援の検討を都度行いながら、発達に応じた個別支援計画書を作成しております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・日々子どもたちの情報交換を支援後に行っている。 ・モニタリング、ケース会議等を行っている。	・立案に対し職員間で意見を出し合い決定しています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・都度、職員間で共有を行っている。 ・常に意識して支援している。	・計画に基づき行っています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	・様々な視点や考えを共有している。	・法人独自のアセスメント様式を使用し、支援内容の検討をしています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		・ガイドラインに沿った支援計画を個々に合わせて作成、ねらいや支援内容についても具体的に記載しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・情報交換を行いながら立案している。 ・担当を決めている。	・年間活動プログラムは前年度の課題点を考慮しながら職員で話し合い立案しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・日々活動の工夫を行っている。	・活動プログラムは日々固定化しないよう工夫をしています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・個々の段階に応じた支援を計画に沿って取り組んでいる。	・子どもの発達や状況に応じて個別・集団の活動を組み合わせた個別支援計画書を作成し、支援を行っております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・朝礼で共有している。 ・必要な連絡等が行われ連携が取れている。	・支援開始前には朝礼を行い、1日の支援の流れを確認し、役割分担についても日案をもとに共有をし、支援を行っております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	・送迎後に記録と合わせ共有を行っている。	・日々の支援終了後、職員で1日を振り返り、課題点、継続して行くことなどを共有する時間を設けています。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・共有し改善に向けて話し合いを行っている。	・日々の支援後、記録を取る前にケース会をし、職員間で共有、改善点などを話し合う時間を設けています。	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・設定された時期に情報共有しながら行っている。	・利用開始の際や少なくとも6か月に1回のモニタリングを行い、個々の発達の状況を把握した上で、個別支援計画の見直しを行っております。	
関係機	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・情報共有が都度行われている。	・児童発達支援管理責任者が参画しております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	・細やかな共有をしている。	・研修の参加や専門機関との連携を行い必要な助言を頂いたり保護者様が受けた助言をもとに情報の共有を行っています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	・保護者を介したり送迎時に、共有を行っている。	・日々の送迎時や担当者会議で児童のご様子を共有し、支援の方向性や役割などを確認したり、ご本人にとってより良い支援となるよう相互理解を図っております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	・アプローチを行い共有を行っている。	・就学前移行の際は、見学の段階からできる限り同行したり、事業所へ行動観察に来ていただくなど情報の共有や相互理解を図っております。
	(28～30は、センターのみ回答)					

関 や 保 護 者 と の 連 携	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	1	・わからない。 ・仙南地区心身障がい児連絡協議会に参加し、必要に応じて助言をいただく機会がある。	・地域の子ども家庭センターや宮城県、仙南地区心身障がい児連絡協議会に所属し、情報の共有や必要に応じて助言をいただく機会を設けています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	・児童館との交流を少ない回数ではあったが行った。 ・感染症の流行で行うことが難しかった。	・近隣児童館との交流の他、法人内保育園の児童と交流する機会を設け、同年代の児童との関わりが持てるよう支援しております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・日々保護者との共有を大切に行っている。 ・アプリやフィードバックで行っている。	・日々のフィードバックの際や面談時に成長や課題点について細やかにやり取りを行っており、共通理解を持って支援しております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	・保護者向けの研修会を開催し保護者交流もかねて定期的に行っている。 ・研修の内容を職員間で共有している。	・年に1度のペアレントプログラムの開催の他、保護者勉強会を定期的に開催し情報提供を行っております。
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・行っている。	・契約時に詳しくご説明しております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・保護者面談で情報共有を行っている。 ・今何ができるかを共有し子どもの最善を考え行っている。	・児童、保護者様のニーズを面談時に伺い、本人にとって最善の利益となるよう、ご意向を踏まえ一人一人に応じた個別支援計画の作成をしております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	・保護面談を設け行っている。	・面談時に個別支援計画案を基に詳しい説明を行い、保護者様から合意を得てご署名をいただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・面談や電話等で対応を行っている。 ・相談があれば、自己完結せず、職員間で相談し返答を行っている。	・日々のフィードバックや定期的な面談の他、就学へ向けた面談、もしくは保護者様のご要望があった際には、子育ての悩みに沿った相談、助言を行っております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	・親子行事を開催しその中で保護者交流を行っている。 ・定期的で開催している。	・行事や交流会の開催を定期的に行いました。又、仙南地区心身障がい児連絡協議会親の会の活動に保護者様がより積極的に参加していただけるよう支援しています。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・教室長への共有を欠かさずにスムーズに対応している。 ・すぐに対応できるように心がけ共有している。	・申し入れがあった場合は迅速な対応に心掛けています。又、いつでも来所、お電話での相談、助言を行っています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1	・発信の回数を多く行えると良いと思う。	・毎月のお便りの発行の他、適宜メールでの伝達や連絡帳を通じて情報を発信しています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・データ等の管理は特に徹底している。 ・常に意識している。	・十分注意しています。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・事業所での様子や支援員との関わりも伝えながら行っている。	・個々の特性に応じた支援ツールや環境の設定を行い情報伝達の配慮を行っております。

	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	・分からない。	・事業所への招待はできておりませんが、地域のイベントに出向くなどして地域との繋がりを持てるよう配慮しております。今後もより地域に開かれた運営を行えるよう努力して参ります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・訓練の時期を事前に決め行っている。 ・月に一度行っている。 ・園内研修を実施している。	・法人でマニュアルを作成し事業紙に掲示した上で、必要な情報についてはおたよりを配布し保護者様に周知を図っています。様々な事象を想定した訓練も行っています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・担当職員を決め、訓練を行っている。 ・月に一度行っている。 ・園内研修を実施している。	・BCP策定を行い、非常時に備えた訓練を行っております。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・園内研修を実施している。	・利用前のアセスメント時、または通院後のご様子を詳しく伺い、服薬やてんかん発作時の対応について確認をし安心してご利用いただけるように配慮しております。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・園内研修を実施している。	・アレルギー対応マニュアルに沿った対応を行っております。必要に応じて診断書、指示書を保護者様にご提出いただき職員間で周知しております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・園内研修を実施している。	・安全計画に沿って研修・訓練を行い、職員間で共有する時間を会議等で行っております。研修で得た内容を踏まえ、安全管理を徹底して支援を行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・事業所で起きたことについて周知し、改善策を考えている。	・訓練の際は保護者様へおたよりで周知しています。又、安全計画を事業所玄関に掲示いつでも見る事ができるようにしております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・都度共有や改善案、検討を行っている。	・ヒヤリハット事例が起きた際は職員間で共有し、再発防止策を会議の中で話し合い経過を記録しております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・日頃から配慮し支援の振り返りを行っている。 ・研修を実施し意識している。	・法人内研修で虐待防止研修を行い、参加しています。虐待事例があった際は通報、会議への参加など、適切な対応を行っています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	・保護者に確認し行っている。	・やむを得ず身体拘束を行う必要がある場合については、法人内、事業所として決定の上職員間で共有しています。保護者様には文章と共に契約時、面談時に説明を行っています。又、個別支援計画書作成時に身体拘束について記載された文書を配布し同意を得ています。やむを得ず身体拘束を行う際はその記録を行っています。